

地方有力大学柔道選手の心理的適性

前川直也^{*1} 坂本道人^{*2} 石井兼輔^{*3} 越野忠則^{*3}
矢崎利加^{*3} 廣瀬伸良^{*4} 田村昌大^{*4}

A Study of Judo Player's Mental Characteristics who Practice at Leading Regional University

Naoya MAEKAWA^{*1}, Michito SAKAMOTO^{*2}, Kensuke ISHII^{*3},
Tadanori KOSHINO^{*3}, Rika YAZAKI^{*3}, Nobuyoshi HIROSE^{*4}
and Masahiro TAMURA^{*4}

Abstract

The purpose of this study was to verify mental characteristics of leading judo players who train at regional university in Japan. DIPCA and TSMI were conducted on 31 leading judo players in order to explain their mental characteristics.

The results were as follows;

- 1) It suggested an association between their experience and mental characteristics. The more experience they had, the more of their anxiety was reduced.
- 2) According to the data from previous study, the high-performance group of judo players had a better ability to make a decision, predictive capability and judgment. This study indicated that these three abilities need to be improved.

Key Words : DIPCA, TSMI, Judo player, Mental characteristics, Leading regional university

1. 緒言

2012（平成24）年6月24日現在、一般社団法人全日本学生柔道連盟の加盟校は314校で¹⁾、北海道、東北、北信越、関東、東京、東海、関西、中国四国、九州の9地区の学生柔道連盟が加盟団体として登録されている。各々の加盟校数は北海道21校、東北27校、北信越19校、関東44校、東京50校、東海33校、関西55校、中国四国30校、九州35校である¹⁾。一般社団法人全日本学生柔道連盟が主催する男子の団体試合は、7人制の無差別で競われる全日本学生柔道優勝大

会（以下、優勝大会と略記）と7階級の体重別で競われる全日本学生柔道体重別団体優勝大会（以下、体重別団体と略記）の2大会である。優勝大会は2012（平成24）年6月で61回（男子）の歴史を数え、体重別団体は1999（平成13）年に第1回大会として開催され、2012（平成24）年度に14回大会となる²⁾。

近年の学生大会の3位までの入賞地区を表1、表2に示した。体重別団体は1999（平成13）年に第1回大会が開催された。そのため優勝大会も同様に1999年からの結果を掲載した。表1から3位までの入賞では東京地区が43回(76.8%)、関東が6回(10.7%)、関西

^{*1} 一般科目

^{*2} 福岡大学

^{*3} 国際武道大学

^{*4} 順天堂大学

が7回(12.5%)である。東京、関東、関西地区の3地区のみの入賞である。決勝進出については、2009年に関西地区が進出したのみで、それ以外は東京地区同士で決勝が行われている。東京地区と関東地区をあわせて首都圏とすると入賞は49回(87.5%)となる。体重別団体では、東京38回(73.1%)、関西8回(15.4%)、関東5回(9.6%)、九州1回(1.9%)である。東京、関東をあわせた首都圏では43回(82.7%)となる。決勝についても2001年に関西が進出したのみではか、首都圏で決勝が行われている状況である。首都圏、関西以外では九州が1回入賞しているだけで、他の地区からの入賞はない。この結果から近年の学生柔道においては、首都圏大学に強豪校が集中しており、地方大学は苦戦を強いられ、地方大学が上位入賞するのは難しい状況である。

表1 全日本学生柔道優勝大会入賞地区 (1999年以降)

年度	優勝	準優勝	第3位
1999	東京	東京	関西 東京
2000	東京	東京	関西 東京
2001	東京	東京	関西 東京
2002	東京	東京	東京 東京
2003	東京	東京	東京 関西
2004	東京	東京	東京 関西
2005	東京	東京	関東 関西
2006	東京	東京	東京 東京
2007	東京	東京	東京 関東
2008	東京	東京	東京 関東
2009	東京	関西	関東 東京
2010	東京	東京	東京 関東
2011	東京	東京	関東 東京
2012	東京	東京	東京 東京

表2 全日本学生柔道体重別団体優勝大会入賞地区

年度	優勝	準優勝	第3位
1999	東京	東京	関西 東京
2000	東京	関東	関西 東京
2001	東京	関西	東京 東京
2002	東京	東京	東京 関東
2003	関東	東京	関西 九州
2004	東京	東京	東京 関西
2005	東京	東京	東京 東京
2006	東京	東京	関西 東京
2007	東京	東京	関西 東京
2008	東京	東京	東京 東京
2009	東京	関東	関西 東京
2010	関東	東京	東京 東京
2011	東京	東京	東京 東京

そこで、地方大学のなかでかつて連続全国大会上位入賞(優勝大会で5位連続入賞)をはたし、地方大会では10数年間連続優勝している地方有力大学柔道選手の心理的適性を明らかにすることとした。また、今後のコーチングの一資料とすることとした。

2. 研究方法

2.1 調査対象および調査時期

一般社団法人全日本学生柔道連盟に加盟する大学で、地区大会で優勝常連校であるF大学柔道部員31名を対象とした。1回目の測定は、オフシーズンである2010(平成22)年1月9日に、2回目の測定は試合シーズン直前である2010(平成22)年3月27日に、3回目は試合シーズンである2010(平成22)年5月15日の地区大会前に、それぞれ心理的競技能力診断検査(DIPCA: Diagnostic Inventory of Psychological Competitive Ability for Athletes, 以下DIPCAと略記)、体協競技意欲検査(TSMI: Taikyo Sport Motivation Inventory, 以下TSMIと略記)実施した。

2.2 調査内容

本研究で用いたDIPCAは、計52質問による質問紙票の心理テストである。DIPCAは、競技意欲、精神の安定、自信、作戦能力、協調性の5因子からなり、忍耐力、闘争心、自己実現意欲、勝利意欲、自己コントロール能力、リラックス能力、集中力、自信、決断力、予測力、判断力、協調性の12尺度で構成されている。

TSMIは、目標への挑戦、技術向上意欲、困難の克服、練習意欲、情緒の安定性、精神的強靱さ、闘志、競技価値観、計画性、努力への因果帰属、知的興味、勝利志向性、コーチ受容、IAC: コーチとの人間関係、失敗不安、緊張性不安、不節制の16尺度146質問で構成されている。なお、IAC: コーチとの人間関係、失敗不安、緊張性不安、不節制は逆転項目である。

なお、手続きとして、調査対象大学柔道部については、監督・コーチおよび部員全員に調査および研究の主旨と回答方法を説明し、当該大学の教室において実施した。

統計処理にはMicrosoft Excel・エクセル統計2008を使用し、統計学的危険率は5%以下($p < 0.05$)とした。

3. 結果および考察

3.1 横断的分析

3.1.1 オフシーズンの心理的適性

DIPCA, TSMIの結果は表3, 表4に示した。

学年による比較において、一元配置分散分析の結果、TSMIの練習意欲、努力への因果帰属、コーチ受容において1年よりも3年のほうが有意に高かった。逆に、精神的強靱さ、IAC: コーチとの人間関係においては1年のほうが3年より有意に高かった。これは、コーチとの人間関係を築く期間に大きな関係があると考えられる。これは、接触時間と好感度が正比例関係である「ザイオンス効果」^③で説明できる。

レギュラーによる比較の結果、予測力、判断力、不節制においてレギュラーのほうがレギュラーでない群よりも5%水準で有意に高かった。これらからレギュラーは、日常生活において節制していることが理解できる。

経験年数の比較では、闘志、勝利志向性で経験年数の短いほうが0.1%の有意水準で高かった。逆に失敗不安、協調性においては、経験年数がながいほうが有意に良好な状態であった。

実績による比較で、県大会(地区大会)出場回数による比較を行った。DIPCAにおいて、闘争心、自己実現意欲、リラックス能力、自信、決断力、判断力、競技意欲、作戦能力、合計、評価では、回数が多いほど有意に高い傾向がみられた。協調性においては、5回以上と出場経験なしが有意に高くU字の関係がみられた。TSMIにおいて、目標への挑戦、技術向上意欲、情緒の安定性、闘志で出場経験が多いほど有意に高い傾向がみられた。逆に、努力への因果帰属、知的興味、勝利志向性は経験が多いほど有意に低い傾向がみられた。また、緊張性不安、不節制では、経験が少ないほど有意に良好な状態であった。さらに、困難の克服において、経験回数が3~4回が有意に最も高く、逆U字関係がみられた。失敗不安においては、3~4回が有意に最も低く、U字関係がみられた。

全国大会出場回数における比較では、DIPCAで、闘争心、集中力、自信、判断力、合計、評価で経験回数が多いほど、有意に高い傾向がみられた。TSMIでは、目標への挑戦、技術向上意欲、練習意欲、情緒の安定性、精神的強靱さ、闘志、努力への因果帰属、知的興味で経験回数が多いほど有意に高い傾向がみられた。また、失敗不安においては、回数が多いほど有意に良好な状態であった。逆に緊張性不安では、回数が少ないほど有意に良好な状態であった。

これらより、実際の試合の場面で要求される決断力や判断力は競技力が高い者ほど高いことが理解できる。また、経験年数が高いほど結果が高いことは、先行研

究^③でも同様の結果が得られている。このことから、経験年数や実績が豊富なほうが、精神的なプレッシャーに強く、いかなる場面でも落ち着いて冷静な判断が可能であり、経験を重ねることによって失敗や緊張に対する不安を取り除いているものと推察される。その結果、試合で持てる力を十分に発揮することができ、なおかつ冷静な判断を失わない精神的な能力は競技能力の向上ならびに高レベルな大会出場経験とともに備わっていくもの^④と考えられる。

3.1.2 試合シーズン直前の心理的適性

学年間における差異は、知的興味、勝利志向性は上級学年より1年のほうが有意に高かった。逆に、技術向上意欲、闘争心、自己コントロール能力、リラックス能力、自信、判断力、精神の安定・集中、作戦能力、合計、評価においては、1年より上級学年のほうが有意に高い結果だった。オフシーズンでは、コーチ受容に差があったものの試合シーズン直前となると選手自身の「自律」が重要であることが推察される。

レギュラーによる比較では、闘争心、自己コントロール能力、リラックス能力、自信、決断力、精神の安定・集中、合計、評価、技術向上意欲、精神的強靱さはレギュラーより準レギュラーやレギュラーでないほうが有意に高かった。しかし、知的興味、計画性はレギュラー群のほうが有意に高かったことから、試合シーズンに向けピークを調整していることが推察される。これは、先行研究^③においても競技力の高い群が試合シーズン以外は競技力の低い群よりも低いとの報告があることから理解できよう。

競技年数においては、闘争心、自己実現意欲、リラックス能力が有意に経験年数の長いほうが高かった。また、失敗不安においては、競技年数が長いほうが有意に少なかった。これも経験が不安を軽減させていることが推察される^④。

実績(県大会レベル)では、闘争心、自己コントロール能力、リラックス能力、決断力、精神の安定・集中、合計、評価、練習意欲において、経験回数の多いほうが有意に高い傾向がみられた。しかし、精神的強靱さにおいては、出場経験がないほうが3-4回出場者よりも有意に高かった。

全国レベルにおいては、闘争心、リラックス能力、自信、決断力、判断力、協調性、精神の安定・集中、作戦能力、合計、評価、技術向上意欲の出場回数が多いほうが有意に高かった。精神的強靱さはU字関係を示し、5回以上、出場なしは高いものの、1-2回、3-4回は低かった。競技価値観、コーチ受容においては3-4

表3-1 DIPCA結果一覧

	忍耐力		闘争心		自己実現意欲		勝利意欲		自己コントロール能力		リラックスクス能力		集中力		自信		決断力		予測力		判断力		協調性		競技意欲		精神の安定・集中		自信		作戦能力		協調性		合計		評価	
	12.5	15.4	16.1	15.6	13.4	10.7	14.4	10.3	10.1	10.3	10.3	10.0	16.2	59.6	38.5	20.5	20.3	16.2	155.1	2.1																		
オフシーズン直前	13.3	15.9	15.7	15.1	12.4	10.0	13.7	11.0	11.1	10.9	11.1	15.6	59.9	36.1	22.1	21.9	15.6	155.6	2.3																			
試合シーズン	12.5	14.5	14.9	14.2	13.3	10.7	14.3	10.5	10.7	10.5	10.6	15.7	56.0	38.4	21.2	21.1	15.7	152.4	2.3																			
1年	12.5	15.1	15.9	15.3	12.9	10.3	14.2	10.3	10.1	10.3	10.1	15.9	58.9	37.4	20.4	20.5	15.9	153.1	2.1																			
2年	13.0	15.4	15.9	15.2	12.4	9.5	14.1	10.4	10.1	10.5	10.3	15.8	59.3	36.1	20.5	20.8	15.8	152.5	2.1																			
3年	13.1	15.7	15.9	15.2	13.2	10.7	14.2	10.9	10.7	10.6	10.6	16.1	60.0	38.0	21.6	21.3	16.1	157.0	2.3																			
学年	12.5	14.3	15.0	14.9	10.9	8.2	13.6	9.6	9.8	9.7	10.0	15.2	56.7	32.7	19.4	19.7	15.2	143.7	1.8																			
1年	13.2	15.8	16.3	14.8	13.7	11.6	14.1	11.4	11.6	10.6	10.7	15.6	60.1	39.5	23.0	21.4	15.6	159.5	2.4																			
2年	14.1	17.3	15.9	15.0	13.4	11.6	14.3	12.5	12.0	12.7	16.8	62.3	39.3	24.5	24.7	16.8	167.6	2.8																				
3年	14.5	15.6	16.5	15.5	12.1	7.0	12.6	11.5	11.7	11.2	12.0	17.0	62.1	31.7	23.2	23.2	17.0	157.2	2.3																			
新入生	12.5	14.6	15.6	16.1	12.5	10.0	14.3	9.3	10.6	9.9	10.3	16.5	58.8	36.8	19.9	20.2	16.5	152.2	2.0																			
2年	12.9	15.3	15.4	13.9	13.6	11.9	14.2	12.0	12.0	12.4	11.9	16.9	57.6	39.7	24.0	24.3	16.9	162.4	2.6																			
3年	13.9	17.0	16.8	15.8	11.7	10.1	13.2	12.6	12.1	12.1	11.7	17.2	63.4	35.0	24.7	23.8	17.2	164.1	2.7																			
4年	14.2	17.0	17.0	14.7	14.7	11.5	14.2	12.0	11.5	11.3	11.2	17.3	62.8	40.3	23.5	22.5	17.3	166.5	2.7																			
選手	12.3	16.8	15.0	15.8	12.5	9.5	14.0	11.5	10.5	12.8	12.0	16.5	59.8	36.0	22.0	24.8	16.5	159.0	2.3																			
標準レギュラー	12.1	14.7	16.0	15.8	13.2	10.7	14.6	9.6	9.7	9.5	9.3	15.8	58.6	38.5	19.3	18.9	15.8	151.0	2.0																			
非レギュラー	11.5	14.5	15.0	15.7	11.7	8.2	13.8	9.3	9.3	9.7	9.8	16.7	56.7	33.7	18.7	19.5	16.7	145.2	1.8																			
選手	14.0	14.0	15.0	13.8	9.8	8.3	13.3	10.0	10.5	9.8	10.3	13.0	56.8	31.3	20.5	20.0	13.0	141.5	1.8																			
標準レギュラー	13.5	16.7	16.3	15.0	13.5	11.5	14.3	11.9	11.9	11.5	11.5	16.4	61.4	39.2	23.8	23.0	16.4	163.7	2.6																			
非レギュラー	13.7	16.6	16.1	16.4	13.3	11.3	14.5	12.3	12.3	11.3	11.7	17.1	62.8	39.1	24.7	23.0	17.1	166.6	2.7																			
選手	12.5	16.5	16.5	14.5	13.5	9.0	16.5	8.5	8.5	10.5	10.5	16.0	60.0	39.0	17.0	21.0	16.0	153.0	2.0																			
標準レギュラー	13.4	15.0	16.0	14.9	12.0	8.9	12.9	11.0	11.5	11.5	11.4	16.9	59.4	33.8	22.5	22.9	16.9	155.3	2.3																			
非レギュラー	12.2	15.7	15.8	15.9	13.1	10.7	14.2	10.4	10.3	10.4	10.0	16.5	59.7	38.0	20.7	20.4	16.5	155.3	2.2																			
10年以上	14.7	15.0	17.7	14.0	14.0	7.7	14.7	10.7	9.0	10.3	10.3	14.0	61.3	36.3	19.7	20.7	14.0	152.0	2.0																			
5-9年	13.4	16.0	16.0	15.0	12.6	10.5	14.0	11.4	11.5	10.8	11.2	15.9	60.5	37.1	22.9	21.9	15.9	158.3	2.4																			
10年以上	11.3	14.3	14.3	14.7	10.3	7.0	13.0	8.7	8.3	10.3	8.7	17.0	54.7	30.3	17.0	19.0	17.0	138.0	1.7																			
5-9年	14.3	16.0	16.3	15.6	11.6	7.3	11.7	11.2	11.9	10.9	10.7	16.1	62.2	30.6	23.1	21.6	16.1	153.6	2.1																			
10年以上	13.2	15.5	16.0	15.3	12.7	10.4	14.2	11.3	11.5	11.5	11.7	17.1	59.9	37.3	22.8	23.2	17.1	160.4	2.4																			
5-9年																																						

表3-2 DIPCA結果一覧

	精神の安定・集中										合計	評価								
	忍耐力	闘争心	自己実現意欲	勝利意欲	自己コントロール能力	リラックス能力	集中力	自信力	決断力	予測力			判断力	協調性	競技意欲	作戦能力	協調性			
実績・ 県大会レベル	県5回-	13.1	16.8	16.7	15.3	14.1	12.2	14.9	11.5	11.3	11.0	11.0	16.9	61.9	41.2	22.8	22.0	16.9	164.9	2.5
	県3-4回	13.0	15.2	16.6	16.6	11.8	8.6	14.6	9.0	9.2	9.6	9.4	15.4	61.4	35.0	18.2	19.0	15.4	149.0	1.8
	県1-2回	11.4	13.3	14.6	15.0	14.3	9.4	13.9	8.9	8.0	9.1	8.6	14.3	54.3	37.6	16.9	17.7	14.3	140.7	1.7
	県なし	11.5	14.3	15.5	16.5	11.3	10.0	13.5	10.3	10.5	10.5	9.8	17.5	57.8	34.8	20.8	20.3	17.5	151.0	2.0
実績・ 全国大会レベル	県5回-	13.9	16.7	15.7	14.5	13.3	11.3	14.2	11.9	12.2	11.4	12.2	16.5	60.8	38.7	24.1	23.6	16.5	163.7	2.6
	県3-4回	12.8	15.2	16.8	15.2	14.8	13.4	14.8	11.2	10.4	10.4	9.6	15.2	60.0	43.0	21.6	20.0	15.2	159.8	2.4
	県1-2回	13.0	14.9	15.6	15.4	11.4	8.7	13.9	10.4	10.7	10.1	11.1	15.0	58.9	34.0	21.1	21.3	15.0	150.3	2.0
	県なし	12.0	14.8	15.0	15.0	10.3	7.3	12.5	9.5	9.0	10.0	9.0	16.0	56.8	30.0	18.5	19.0	16.0	140.3	1.8
実績・ 全国大会レベル	県5回-	12.3	14.5	15.0	14.3	12.5	11.3	14.3	11.0	12.0	12.5	13.0	18.5	56.0	38.0	23.0	25.5	18.5	161.0	2.3
	県3-4回	13.3	13.8	14.8	15.1	12.0	8.3	13.1	10.8	10.9	11.0	10.4	15.4	57.0	33.4	21.7	21.4	15.4	149.0	2.0
	県1-2回	13.0	15.8	16.3	15.2	9.0	6.8	10.7	11.0	10.8	10.5	10.0	16.7	60.3	26.5	21.8	20.5	16.7	145.8	1.8
	県なし	13.8	16.6	16.8	15.8	13.6	11.1	14.6	11.8	12.2	11.7	12.3	17.4	63.0	39.2	24.0	24.1	17.4	167.7	2.8
実績・ 全国大会レベル	全国5回-	13.5	17.9	16.8	15.5	15.1	11.9	15.3	12.5	11.3	11.9	11.8	17.9	63.6	42.3	23.8	23.6	17.9	171.1	2.6
	全国3-4回	13.0	15.5	18.0	14.0	12.5	10.5	15.5	9.5	9.0	10.0	10.5	16.0	60.5	38.5	18.5	20.5	16.0	154.0	2.0
	全国1-2回	12.6	14.6	16.0	15.7	13.1	11.9	14.8	10.1	11.1	10.3	10.6	15.9	58.8	39.8	21.2	20.9	15.9	156.6	2.2
	全国なし	11.8	14.4	15.3	15.8	12.7	9.1	13.4	9.2	8.8	9.3	8.4	15.3	57.3	35.2	18.0	17.7	15.3	143.4	1.8
実績・ 全国大会レベル	全国5回-	14.3	17.6	16.4	15.6	14.3	12.3	15.1	12.9	12.3	12.5	13.4	17.3	63.9	41.6	25.1	25.9	17.3	173.8	3.0
	全国3-4回	13.5	16.0	14.0	12.5	10.0	9.0	11.0	11.0	11.0	10.0	10.0	15.0	56.0	30.0	22.0	20.0	15.0	143.0	2.0
	全国1-2回	13.1	15.4	15.9	14.4	13.6	11.6	14.3	11.2	11.8	10.7	10.8	16.0	58.9	39.4	23.0	21.4	16.0	158.8	2.3
	全国なし	12.7	14.8	15.5	15.2	11.5	8.8	13.5	10.0	10.0	9.8	10.1	15.0	58.2	33.8	20.0	19.9	15.0	146.9	1.9
実績・ 全国大会レベル	全国5回-	13.7	14.9	15.5	15.5	11.4	8.3	12.5	10.7	11.3	10.8	10.9	16.2	59.6	32.2	21.9	21.6	16.2	151.5	2.0
	全国3-4回	13.0	15.2	16.4	15.3	12.5	10.5	13.9	11.5	12.1	12.1	12.6	17.5	59.8	37.0	23.6	24.7	17.5	162.7	2.6
	全国1-2回	9.7	14.0	13.7	13.0	12.7	9.7	13.7	11.7	10.0	10.3	10.0	15.3	50.3	36.0	21.7	20.3	15.3	143.7	1.7
	全国なし	15.0	18.4	17.7	16.1	14.1	11.7	15.3	12.3	12.6	12.4	12.1	18.3	67.3	41.1	24.9	24.6	18.3	176.1	3.1

表4-1 TSMI結果一覧

	努力への帰属										IAC:						
	目標への挑戦	技術向上意欲	困難の克服	練習意欲	情緒の安定性	精神的強さ	闘志	競技価値観	計画性	努力への帰属	知的興味	勝利志向性	コーチ受容	コーチとの関係	失敗不安	緊張性不安	不節制
オフシーズン	23.5	22.7	22.0	17.4	18.9	21.3	23.1	19.2	22.3	17.5	21.3	23.5	19.7	16.1	19.5	17.4	19.2
試合シーズン直前	24.0	22.9	22.5	17.9	19.3	21.3	23.0	19.7	22.0	17.1	21.3	22.7	19.8	15.5	19.0	18.0	19.5
試合シーズン	22.7	21.8	21.4	17.0	19.0	20.8	22.3	19.6	21.2	15.4	19.6	22.2	18.2	13.2	17.9	17.1	19.0
オフ	22.6	22.8	21.7	16.3	18.7	22.5	21.7	19.9	22.4	15.7	20.6	24.1	19.1	13.5	19.0	17.1	20.0
1年	25.2	23.6	22.8	17.5	20.0	21.5	25.5	18.7	22.8	17.7	21.9	22.5	19.7	16.7	19.3	18.2	18.9
2年	22.6	21.7	21.5	18.4	17.9	19.8	21.8	19.1	21.6	19.1	21.4	24.2	20.3	17.9	20.2	16.7	18.7
3年	22.5	21.0	21.8	17.6	18.2	21.7	21.5	20.2	22.0	16.3	22.3	23.6	19.3	14.3	19.4	17.6	19.4
1年	24.6	24.1	22.5	17.2	19.5	21.1	24.1	19.8	22.0	17.4	20.4	22.8	19.7	16.2	19.5	18.0	19.7
2年	24.7	24.1	22.7	18.4	20.0	21.6	23.2	19.5	22.1	17.5	20.9	21.4	20.0	15.9	17.2	18.6	19.4
3年	25.5	24.3	23.7	18.8	20.1	22.9	24.2	18.6	23.2	15.3	20.5	24.5	19.2	13.1	22.4	17.4	19.1
4年	23.7	22.9	23.4	17.4	20.2	24.1	23.2	20.0	23.2	14.9	21.2	22.8	19.4	12.3	19.4	18.8	19.8
新入生	25.0	24.4	22.2	18.2	21.3	21.3	25.6	19.2	21.9	17.7	21.6	21.7	20.1	16.7	16.8	19.2	18.9
2年	23.9	22.4	22.8	18.8	20.6	21.0	23.6	18.8	21.6	17.3	21.3	23.7	20.1	15.4	18.3	18.6	19.6
3年	24.5	24.2	20.3	18.7	19.7	20.8	23.2	18.8	22.8	18.5	21.5	24.8	20.0	16.8	18.5	18.5	18.0
4年	25.5	24.5	22.5	16.5	19.0	22.5	23.3	19.0	21.3	17.5	20.0	23.3	20.3	17.5	17.8	19.0	20.8
選手	22.9	22.0	22.4	17.2	18.7	21.1	23.0	19.4	22.3	17.2	21.5	23.2	19.5	15.6	20.1	16.7	19.2
準レギュラー	22.7	20.5	23.0	18.0	18.0	23.7	23.2	19.3	23.0	16.0	23.2	23.8	19.2	14.0	19.3	18.0	19.0
非レギュラー	22.3	21.8	20.0	17.0	18.5	18.8	19.0	21.5	20.5	16.8	21.0	23.3	19.5	14.8	19.5	17.0	20.0
選手	24.4	23.9	22.5	17.7	19.6	21.2	23.4	19.7	22.0	17.4	20.5	22.2	19.8	16.1	18.6	18.3	19.6
準レギュラー	23.5	21.9	23.8	17.8	22.1	22.1	23.3	19.5	21.5	16.9	20.6	21.8	20.2	14.9	16.6	20.5	19.6
非レギュラー	23.5	25.0	22.0	18.0	20.0	21.0	21.5	19.5	21.5	17.5	19.0	24.5	19.0	15.5	21.5	19.0	17.5
選手	25.1	24.2	22.8	18.6	19.8	22.7	24.8	19.0	23.1	15.8	21.6	23.8	19.5	13.9	20.5	17.4	19.4
準レギュラー	23.7	22.6	22.2	17.3	19.0	21.2	22.8	19.1	22.3	17.7	21.6	23.3	19.9	16.4	19.5	17.4	19.2
非レギュラー	23.7	25.3	22.0	19.3	17.3	21.7	27.7	19.3	22.0	18.0	21.7	26.7	19.0	16.3	21.7	16.3	18.3
10年以上	24.0	23.2	22.5	17.4	19.2	21.0	22.7	19.9	21.9	17.0	20.7	22.7	19.8	15.5	19.0	17.8	19.6
5-9年	21.7	20.7	21.3	19.3	18.0	23.7	23.7	19.3	22.7	16.7	24.0	23.7	18.3	15.0	19.0	17.7	18.7
10年以上	25.0	23.6	24.2	18.8	20.3	22.7	25.7	18.7	23.6	16.4	20.6	24.0	19.4	14.1	21.7	18.0	20.3
5-9年	24.4	23.5	22.7	18.1	20.6	22.3	23.6	19.3	22.2	16.2	21.3	22.9	19.8	14.3	18.6	18.6	19.0

表4-2 TSMI結果一覧

実績・大会レベル	努力への因果帰属											IAC:						
	目標への挑戦	技術向上意欲	困難の克服	練習意欲	情緒の安定性	精神的強靭さ	闘志	競技価値観	計画性	知的興味	勝利志向性	コーチ受容	コーチとの人間関係	失敗不安	緊張性不安	不節制		
才 フ	県5回-	24.9	23.9	21.8	17.8	19.7	21.3	24.1	19.7	22.1	17.9	21.1	22.9	20.1	16.4	17.8	19.1	19.3
	県3-4回	22.0	21.8	23.0	17.6	16.0	21.6	22.4	18.4	23.0	17.6	20.6	25.2	19.6	16.6	24.0	14.0	19.4
	県1-2回	22.1	21.6	22.7	16.4	18.7	20.4	20.3	19.1	22.1	16.1	21.1	23.9	19.1	14.3	19.7	16.1	19.7
	県なし	21.0	19.3	20.7	17.7	17.7	21.7	23.7	19.3	22.7	18.7	23.7	24.7	19.0	17.7	21.7	15.3	17.3
直 前	県5回-	24.6	23.9	22.2	17.5	19.9	21.8	23.2	20.0	22.1	17.1	20.5	22.1	19.9	15.3	17.9	18.4	19.7
	県3-4回	23.4	23.2	23.8	18.6	19.6	19.0	23.6	19.2	21.0	18.4	20.8	21.8	19.6	18.2	18.8	17.8	19.2
	県1-2回	24.0	22.3	21.7	17.0	18.3	21.3	20.9	20.7	22.1	16.1	21.7	23.3	19.7	14.3	19.7	18.0	19.9
	県なし	22.3	21.3	22.3	18.5	18.0	23.5	25.0	18.5	22.8	16.8	23.0	24.3	18.8	14.8	20.0	17.3	18.8
試 合	県5回-	24.3	23.3	22.5	18.8	20.3	22.0	27.0	19.3	22.5	18.5	22.0	23.8	19.5	18.0	17.8	19.8	18.3
	県3-4回	23.3	22.2	22.4	18.2	19.3	22.2	21.2	19.6	22.3	14.7	21.4	23.4	19.6	12.3	20.8	17.6	20.1
	県1-2回	26.0	24.0	23.8	18.0	18.5	21.3	26.8	17.0	24.8	16.8	21.2	25.3	19.5	14.8	22.2	16.5	20.5
	県なし	24.7	24.2	23.2	18.1	22.1	22.8	23.8	19.6	21.7	16.5	20.7	22.1	19.8	14.5	17.8	19.6	18.8
才 フ	全国5回-	26.0	25.4	20.8	18.0	20.8	22.1	24.6	18.6	22.3	17.4	21.5	23.4	19.8	15.9	17.0	20.3	18.9
	全国3-4回	21.0	20.0	23.0	19.5	17.0	21.0	27.5	19.5	20.5	20.0	22.5	22.0	20.5	18.0	18.5	17.0	19.0
	全国1-2回	23.4	22.6	22.8	17.4	18.9	19.9	23.3	19.6	22.4	18.4	20.7	23.4	20.0	17.4	20.3	17.1	19.6
	全国なし	22.3	21.6	22.2	16.6	18.0	21.8	21.1	19.3	22.5	16.5	21.5	24.0	19.3	14.8	20.7	15.7	19.2
直 前	全国5回-	25.5	25.6	22.8	18.4	20.4	22.8	23.3	19.1	22.9	17.1	20.9	21.4	19.8	15.4	17.3	19.4	19.3
	全国3-4回	21.5	18.0	22.5	18.5	18.5	17.0	23.0	21.0	19.0	19.0	21.0	21.5	21.0	18.0	17.0	15.5	20.0
	全国1-2回	24.2	24.0	22.7	17.1	19.6	20.4	23.8	20.2	22.1	17.8	20.3	23.1	19.8	16.8	19.6	18.0	19.8
	全国なし	23.2	21.6	21.8	17.6	18.3	22.1	22.2	19.8	21.9	16.2	22.0	23.3	19.3	14.2	19.4	17.7	19.4
試 合	全国5回-	24.7	23.1	23.1	17.9	19.6	23.2	23.8	18.5	22.9	15.0	21.4	23.5	19.4	12.8	20.3	17.8	19.6
	全国3-4回	24.1	24.5	23.2	18.7	20.9	21.4	24.3	19.7	22.6	17.3	21.1	23.8	19.7	16.1	20.0	18.1	19.1
	全国1-2回	21.7	19.7	22.7	18.0	20.3	20.0	22.7	20.7	21.3	19.3	21.0	23.7	21.7	17.7	18.7	18.7	19.3
	全国なし	26.0	25.1	23.0	17.9	22.7	23.0	24.6	18.9	21.4	16.6	20.6	21.0	19.4	14.1	15.7	21.3	19.0

回が最も高く有意差が認められた。これは、5 回以上経験のある者と 3-4 回の出場の違いは前述の「自律」に違いがあるものと予測される。

3.1.3 試合シーズンの心理的適性

学年による比較では、学年が高いほうが有意に高い項目は、リラックス能力、予測力、精神の安定・集中、努力への因果帰属であり、逆に学年が高いほうが有意に低い項目は、精神的強靱さ、勝利志向性であった。IAC：コーチとの人間関係においては、学年が高くなるにつれ良好な関係が築かれていることが明らかであった。また、失敗不安においては、学年が高いほうが有意に低い傾向がみられた。自信においては、2 年が他学年よりも有意に低かった。

レギュラーによる比較では、集中力、精神の安定・集中、情緒の安定性でレギュラーのほうが有意に高く、計画性、知的興味においては、レギュラーのほうが有意に低かった。失敗不安はレギュラーのほうが低く、緊張性不安がレギュラーのほうが高かった。

経験年数では、経験が長いほうがリラックス能力、集中力、精神の安定・集中で有意に高く、失敗不安、不節制では、経験の長いほうが有意に低かった。これらより、試合シーズン直前と同様、経験が不安を軽減させる⁴⁾ことから、精神面の安定につながっているものと推察される。

実績（県大会レベル）では、闘争心、勝利意欲、リラックス能力、判断力、競技意欲、合計、評価、情緒の安定性、努力への因果帰属、緊張性不安が出場経験の多いほうが有意に高く、勝利志向性、知的興味は経験の少ないほうが高かった。経験が多いほうが IAC：コーチとの人間関係が良好に築けており、不節制が低く、節制していることが明らかとなった。また、闘志、計画性は逆 U 字を示し、3-4 回の経験の群が有意に高かった。さらに、失敗不安において、経験回数の少ないほうが有意に高く、緊張性不安については、経験回数の多いほうが有意に高い。これより、経験が不安を軽減させると前述しているが、本研究では経験による不安の軽減は失敗不安に特定できるといえよう。

全国大会レベルでは、闘争心、自己実現意欲、自己コントロール能力、リラックス能力、集中力、協調性、競技意欲、精神の安定・集中、合計、評価、情緒の安定性が全国レベルの経験が豊富なほうが有意に高かった。これは、徳永⁵⁾が述べているように、経験、実績の豊富なほうが高くなる傾向にあることと同様の結果が得られたといえる。忍耐力、技術向上意欲、精神的強靱さは U 字型を示し、努力への因果帰属、コーチ受

容は逆 U 字型を示し、3-4 回の群が高かった。これらより、経験が 5 回以上と 3-4 回の群の違いとして、経験が豊富になるにつれ、試合シーズンとなると技術向上よりも試合で自己の実力を最大限に発揮するために集中しているものと考えられる。また、県大会レベルと同様に、失敗不安は経験の少ない群が有意に高く、緊張性不安は経験の高い群が有意に高かった。これも、経験そのものは失敗不安を軽減しているものと同時に、経験を重ねるにつれ、試合に対する緊張感が増して行くものと推察された。

3.2 縦断的分析

3.2.1 1 回目（オフシーズン）と 2 回目（試合シーズン直前）の差異

1 回目と 2 回目との比較検定を t-test（対応あり）によって行った。DIPCA においては、勝利意欲が 5%水準で 2 回目のほうが有意に低かった。逆に、自信、決断力、判断力、作戦能力が 1%水準で 2 回目のほうが有意に高くなっていた。TSMI においては、勝利志向性が 1%水準で 2 回目のほうが有意に低かった。このことから、勝利に対する執着心は低くなり、実践的な項目が試合シーズンでは高くなることが明らかとなった。

3.2.2 1 回目、2 回目と 3 回目（試合シーズン）の差異

1 回目と 3 回目において有意差がみられたものは決断力、判断力、自信、作戦能力、情緒の安定性であり、いずれも 3 回目にかけて高くなっている。また、コーチの人間関係においても、3 回目にかけて有意に良好な関係が築けている。しかし、練習意欲、努力への因果帰属が 3 回目にかけて低くなっている。先行研究³⁾では、全国入賞群は試合シーズンにかけ努力への因果帰属は有意に高くなっているのと全く逆の結果が得られた。

2 回目と 3 回目では情緒の安定性が有意に 3 回目のほうが低く、協調性が 3 回目のほうが 10%水準ではあるが低くなっている傾向がみられた。先行研究³⁾の全国入賞群ではオフシーズンは低いものの試合シーズンにかけて高くなるものとは全く逆の結果であった。全国の入賞群とのこうした違いが大会結果にあらわれているものと推察され、今後のチームづくりをするうえでの検討課題といえる。

3.3 先行研究³⁾の全国入賞群との比較

3.3.1 DIPCA

本研究の対象者と先行研究³⁾の全国大会入賞群との

表5 DIPCA先行研究³⁾との比較

	オフシーズン				試合シーズン			
	M	SD	有意差		M	SD	有意差	
忍耐力	14.0	2.7	*	先行>	13.7	2.9	<i>n.s.</i>	
闘争心	15.3	2.9	<i>n.s.</i>		15.8	3.3	<i>n.s.</i>	
自己実現意欲	15.9	2.5	<i>n.s.</i>		15.8	2.9	<i>n.s.</i>	
勝利意欲	15.7	2.2	<i>n.s.</i>		14.5	3.0	<i>n.s.</i>	
自己コントロール能力	12.2	3.1	†	先行<	12.8	3.2	<i>n.s.</i>	
リラックス	10.4	2.9	<i>n.s.</i>		10.4	4.2	<i>n.s.</i>	
集中力	13.1	2.8	<i>n.s.</i>		12.7	3.5	<i>n.s.</i>	
自信	12.1	3.1	*	先行>	11.8	2.9	<i>n.s.</i>	
決断力	12.0	2.8	**	先行>	12.8	3.0	**	先行>
予測力	12.4	3.2	**	先行>	12.3	3.3	*	先行>
判断力	12.4	2.7	***	先行>	12.2	2.8	†	先行>
協調性	13.1	3.8	***	先行<	14.5	3.4	†	先行<
競技意欲	60.9	7.7	<i>n.s.</i>		59.8	9.8	<i>n.s.</i>	
精神の安定	35.8	8.2	<i>n.s.</i>		35.9	10.3	<i>n.s.</i>	
自信	24.2	5.6	**	先行>	24.5	5.3	*	先行>
作戦能力	24.9	5.7	**	先行>	24.5	5.8	*	先行>
協調性	13.1	3.8	***	先行<	14.5	3.4	†	先行<
合計	158.8	21.0	<i>n.s.</i>		159.2	20.7	<i>n.s.</i>	
評価	2.2	1.0	<i>n.s.</i>		2.3	0.9	<i>n.s.</i>	

†:p<0.1, *:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001

表6 先行研究³⁾TSMIと比較

	オフシーズン				試合シーズン			
	M	SD	有意差		M	SD	有意差	
目標への挑戦	21.7	3.3	*	先行<	22.2	4.0	*	先行<
技術向上意欲	22.2	3.1	<i>n.s.</i>		23.6	4.0	<i>n.s.</i>	
困難の克服	21.6	3.3	<i>n.s.</i>		23.3	4.3	<i>n.s.</i>	
練習意欲	18.8	4.8	†	先行>	18.3	4.2	<i>n.s.</i>	
情緒の安定性	19.1	3.6	<i>n.s.</i>		18.9	4.1	<i>n.s.</i>	
精神的強靭さ	20.6	3.3	<i>n.s.</i>		20.3	3.5	<i>n.s.</i>	
闘志	22.7	4.0	<i>n.s.</i>		25.3	3.6	<i>n.s.</i>	
競技価値観	20.9	3.4	*	先行>	21.8	4.4	*	先行>
計画性	21.0	3.5	†	先行<	20.9	4.1	<i>n.s.</i>	
努力への因果帰属	22.2	3.5	***	先行>	24.0	3.3	***	先行>
知的興味	22.2	4.4	<i>n.s.</i>		24.4	5.5	**	先行>
勝利志向性	20.8	3.9	**	先行<	20.3	5.0	*	先行<
コーチ受容	20.2	2.6	<i>n.s.</i>		20.1	5.3	<i>n.s.</i>	
IAC:コーチとの人間関係	20.3	4.3	***	先行>	20.3	5.3	***	先行>
失敗不安	22.4	2.8	**	先行>	22.6	4.1	***	先行>
緊張性不安	20.4	2.8	***	先行>	19.9	3.8	*	先行>
不節制	19.8	3.4	<i>n.s.</i>		18.3	4.3	†	先行<

†:p<0.1, *:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001

比較を行い、結果を表5に示した。

オフシーズンでは、忍耐力、自信、決断力、予測力、判断力が有意に先行研究の入賞群のほうが高かった。自己コントロール能力、協調性は先行研究のほうが有

意に低かった。

試合シーズンでは、オフシーズンの忍耐力、自信、自己コントロール能力を除いて同様の結果が得られた。このことから、決断力、予測力、判断力といった試合

をするうえで戦術的な能力に大きな違いがあるといえ、今後、こうした能力の向上することが重要であることが示唆されたといえる。

3.3.2 TSMI

結果を表6に示した。

オフシーズンでは、目標への挑戦、計画性、勝利指向性が先行研究のほうが有意に低く、練習意欲、競技価値観、努力への因果帰属が先行研究のほうが有意に高かった。またIAC:コーチとの人間関係、失敗不安、緊張性不安は先行研究のほうが有意に良好でなかった。

試合シーズンでは、練習意欲、計画性を除いて同様の結果であったが、知的興味が先行研究のほうが有意に高く、不節制は先行研究のほうが良好である傾向が窺えた。このことから、試合に勝つために節制し、試合に集中する体制づくりができていているといえる。先行研究³⁾で述べられているとおり、努力への因果帰属が試合で勝つために重要な鍵を握っているといえ、指導者が日常の稽古から努力の重要性を選手に伝授していくことが重要であることが窺えた。

4. まとめ

地方有力大学柔道選手の心理的適性を明らかにするために、DIPCA、TSMIを実施した。以下の知見が得られた。

- 1)心理的適性は経験との関連性がある。経験により不安は軽減する。
- 2)先行研究による全国大会入賞群は、決断力、予測力、判断力が優れている。これらの能力を向上させる必要がある。

文献

- 1) 一般社団法人全日本学生柔道連盟ホームページ,
<http://www.gakujuren.or.jp>
- 2) 一般社団法人全日本学生柔道連盟：学生柔道 60 年の歩み(2011)
- 3) 前川直也, 菅波盛雄, 飯嶋正博, 廣瀬伸良, 高橋進, 佐藤博信：メンタルトレーニングによる大学柔道選手の心理的適性の変容について, 大阪産業大学論集人文科学編 114 号, pp.63-81, (2004)
- 4) 村上志穂, 平工志穂, 内藤祐子, 前山定, 細田三二：国士舘大学サッカー部員の心理的競技能力の諸特徴, 国士舘大学体育研究所報告 18, p43-51 (1999)
- 5) 徳永幹雄：コーチングの心理 Q&A, pp.218-219 (1998)
- 6) Zajonc,R.B.: Attitudinal Effects of Mere Exposure. *Journal of personality and Social Psychology*,9, 1-27,(1968)

(2012.9.19 受理)